

団体名：JA根上 加工部会

代表者：西居 良志恵

所在地：石川県能美市大成町

〔ポイント〕

JA根上加工部会は、平成11年度50代を中心とした女性10名で結成。現在18名。

米食離れの子供達に、安心して手軽に主食と惣菜を供給石川県産米(ゆめみづほ)の消費拡大を図り、地元食材(丸いも・吹き立ち菜・根上産豚肉・しいたけ)等の利活用をはかり、食文化の伝承及び消費者への地元農産物の供給拡大

【活動の内容】

1. 特産丸いもを使ったケーキ・クッキー等のお菓子と丸いも真空パックをJA根上の農産加工場で製造し、同JA店頭及びいきいき市の朝市で販売。
2. 平成13年より地元養豚農家と連携し、月1回還元肉の予約配布を実施。この中から評判の良い新鮮で柔らかい豚肉を選ぶ。
3. 地元の物は地元で消費を基本のコンセプトとし、安全な食材を厳選して、おふくろの味・懐かしい郷土の味が生かされたメニューを考え、子供から高齢者まで幅広い年齢層に味わって頂ける様に工夫。

【活動の成果】

1. 地産地消を目的とした生産・販売・食育活動に平成3年度より取り組み、平成11年度から農産物加工商品づくりを開始し、平成16年度に米粉商品を給食へ供給、平成17年度に「ごはんばーがー」を開発している。
2. JA根上加工部会では、消費ニーズに沿った地域特産品、米などの加工商品開発を心がけ、農協ならではの地産地消・米消費拡大に取り組んでおり、地産地消に取り組む中で、各生産農家の技術向上を図り、併せて規格外品の有効利用に繋げ、地域農業の活性化に貢献している。
3. また、月3回のいきいき市を始めた平成3年には、朝市に出荷する会員は16名であったが、次第に作り手・売り手の輪が広がった。昨年度よりJAのスーパーにて常時(平日)開市することになり、会員も現在66名と人気を得ている。出荷する会員が増えると同時に、消費者も新鮮で安心な商品を買求めることができ、地元食材について理解することが出来る様になった。生産者は作る喜び・使う喜びを手に入れる事で意欲が湧き、生産技術や品質の向上、食育への認識が生まれてきた。生産者と消費者とがお互いを理解し、結びつきを強める中心的・先導的な組織として地域における食育の推進に寄与し、地産地消を拓げる事により、地域活性化に繋げている。